

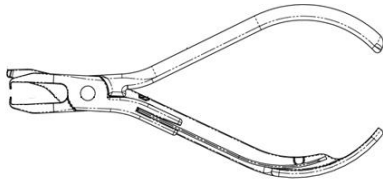
機械器具 39 医療用鉗子  
一般医療機器 歯科矯正用プライヤー 33209000

## シンメトリー クリア ディボンディング プライヤー

### 【禁忌・禁止】

ニッケル及びクロムに対し発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある医療関係者、及び患者には使用しないこと。

### 【形状・構造及び原理等】



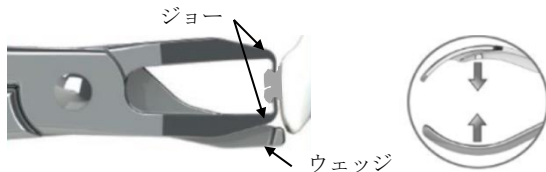
材質：ステンレス鋼、ニッケルチタン銅合金

### 【使用目的又は効果】

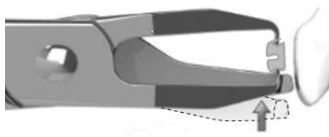
本品は、歯面に接着された歯列矯正用アタッチメントを撤去するために用いる。

### 【使用方法等】

- 歯面に接着されたブラケットから歯列矯正用ワイヤ（別品目）及び歯列矯正用エラスチック器材（別品目）を取り外す。
- プライヤー先端（ジョー）を歯肉及び咬合両側から、ブラケットのタイウィングの後ろに配置する。ウェッジはブラケットの歯肉側または咬合側に配置することができる。ハンドルを握りジョーでブラケットを保持する。



- ハンドルをさらに握り、ウェッジを歯面接着面の方向に押し進め、歯面に接触することでブラケットが歯から剥がれる。



使用できる歯列矯正用ブラケット：

販売名	一般的名称	認証番号
シンメトリー クリア	歯列矯正用アタッチメント	230ADBZX00074000

### 【使用方法に関連する使用上の注意】

- 感染防止のため、本品は最初使用前、各患者の使用後に必ず、洗浄、消毒、滅菌を実施すること。
- 患者が痛みを感じる、またはブラケットが変形するおそれがあるため、ブラケットを保持した状態でプライヤーを捻らないこと。
- ウェッジでエナメル質を傷付ける恐れがあるためハンドルはゆっくり握ること。
- 汚れが付着した場合はすぐにクロスなどで除去し、汚れが器具上で乾燥しないようにすること。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### 【保管方法】

- 滅菌後の製品は、十分乾燥させてから保管する。水分が付着したまま長時間放置すると、錆、シミ等の原因となる場合がある。
- 清潔で乾燥した埃のない環境で保管する。
- 高圧蒸気滅菌を行った器具は滅菌パウチに入れたまま保管する。

### 【保守・点検に係る事項】

- 使用前・使用後の点検  
磨耗、損傷、腐食、破損、結合部の不良、緩みや締め付け、刃こぼれが生じていないか確認する。これらがある場合は、使用を中止する。
- 洗浄・消毒
  - (1) 洗浄前の準備
    - 使用後速やかに（2時間以内）、柔らかいブラシで付着した汚染物を除去する。
    - 結合部を酸素洗浄剤に浸漬した状態で5回以上開閉する。
    - 内腔部分にはシリンジで酵素洗浄剤を注入し、洗浄剤が行き渡るようにする。
  - (2) 洗浄・消毒
    - <超音波洗浄器を用いる場合>
      - 器具用のブラシを用いて、表面の汚染物が目視できなくなるまで30～40℃の飲料用の流水で洗浄する。
      - 結合部に汚れがないことを確認する。
      - 30～40℃の飲料用の流水で1分間すすぐ。
      - ジョーを開いた状態で超音波洗浄器のトレイに置き、中性の酵素洗浄剤に浸漬する。
      - サイクル終了後、蒸留水または脱イオン水で30秒以上すすぎ、洗浄剤を洗い流す。
      - 他の器具と接触しないように消毒液に浸漬する。
      - 蒸留水または脱イオン水で30秒以上すすぎ、消毒液を洗い流す。
      - 圧縮空気とタオルを用い結合部を十分に乾燥させる。
    - <用手洗浄の場合>
      - 器具用のブラシを用いて、表面の汚染物が目視できなくなるまで30～40℃の飲料用の流水で洗浄する。
      - 結合部に汚れがないことを確認する。
      - 30～40℃の飲料用の流水で1分間すすぐ。
      - ジョーを開いた状態でトレイに置き、中性の酵素洗浄剤に浸漬する。
      - 浸漬させた状態で、器具用のブラシを用い残留した汚染物を除去する。結合部に汚れが残っていないことを確認する。
      - 蒸留水または脱イオン水で30秒以上すすぎ、洗浄剤を洗い流す。
      - 他の器具と接触しないように消毒液に浸漬する。
      - 蒸留水または脱イオン水で30秒以上すすぎ、消毒液を洗い流す。
      - 圧縮空気とタオルを用い結合部を十分に乾燥させる。
    - <熱水消毒機を用いる場合>
      - 熱水消毒機（ウォッシュャーディスインフェクター）に他の器具と接触しないようにセットする。
      - サイクルを開始する。
      - サイクルの終了後、器具を取り出す。

### 3. 滅菌

< 高圧蒸気滅菌の場合 >

- 1) ジョーを開いた状態で滅菌パウチに入れ、平らにトレイに置く。
- 2) 以下の条件で滅菌を実施する。

	滅菌条件	乾燥時間
フレバキューム式	132℃/134℃、4分間	20分間以上
	121℃、20分間	
重力置換式	132℃/134℃、5分間	
	121℃、20分間	

< 乾熱滅菌の場合 >

- 1) ジョーを開いた状態で、滅菌パウチに入れずに、他の器具と接触させないように、平らにトレイに置く。
- 2) 190℃、20分間で滅菌を実施する。

[保守・点検に関する注意事項]

- ・ 洗浄時、金属やスチールウール製のブラシを使用しないこと。
- ・ 使用済みの汚染器具は保護手袋を着用して取り扱うこと。
- ・ コールド消毒剤は使用しないこと。
- ・ 洗浄・消毒後は、医療用潤滑剤の説明書に従い結合部に潤滑油をつけること。
- ・ 潤滑用に鉱油を使用しないこと。
- ・ 汚染物を完全に除去してから滅菌すること。
- ・ 滅菌後パウチに傷があった場合、パウチ内の器具は使用しないこと。
- ・ 記載の滅菌条件は一般的なパラメータであるため、使用する滅菌器の取扱説明書を参照すること。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：カボデンタルシステムズ株式会社  
連絡先：03-6859-0065  
製造業者：オームコ社 (Ormco Corporation)  
国名：アメリカ (U. S. A.)